

『前立腺がん』は中高年男性に多く見られるがんです。このがんは、一般的には進行は緩やかで比較のおとなしいといわれていますが、一部には急激に進行するものもあります。しかし、前立腺がん検診を受診することで、前立腺がん死亡の危険が確実に低くなることが証明されています。

今回は前立腺がんの検査や治療法等についてお伝えしたいと思います。

検診でわかるあなたの体シリーズ NO.6

前立腺の検査の種類

PSA検査

当センター
で実施

がん検診等でよく行われている血液検査で、血中PSA値を調べます。PSAとは前立腺特異抗原のことで前立腺から分泌されるたんぱく分解酵素のことで、

前立腺に何らかの疾患があると、PSAの値が高くなります。

この検査で分かる病気

前立腺がん・前立腺肥大症
前立腺炎など



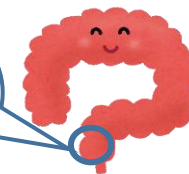
直腸診

肛門から直腸に指を入れ、直腸の壁越しに前立腺を触診し、前立腺の大きさや形、硬さ等の状態を調べます。しこりの大きさや場所によっては、分からないこともあります。

この検査で分かること

前立腺の大きさ・しこりの有無
表面の状態

大きさ
しこり



経直腸的超音波検査

(2次検査)

肛門から超音波を発する細い器具(プローブ)を挿入し、前立腺の形や大きさを調べる検査です。

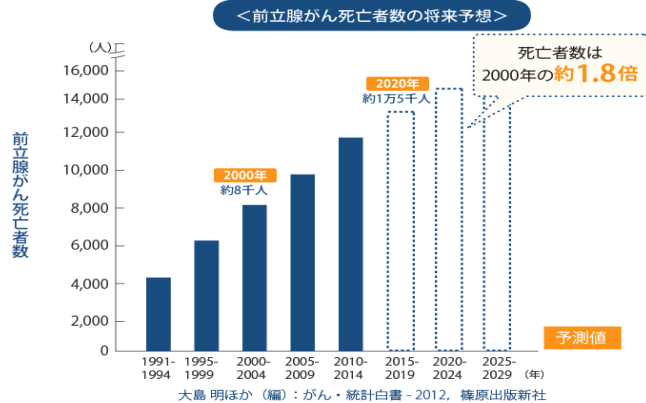
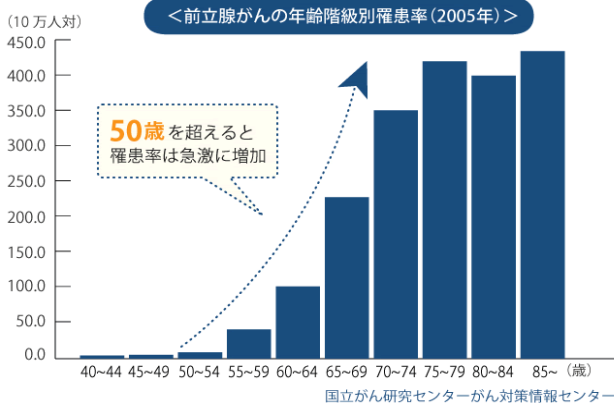
がんにかかっていると、前立腺の形が大きくなったり、ゆがんで左右非対称になると言われています。

この検査で分かる病気

前立腺がん・前立腺肥大症



前立腺がんの現状と今後



上記の表は前立腺がんの年齢階級別罹患率と、前立腺がん死亡者数の将来予測です。50歳を超えると前立腺がんの罹患率は急激に増加します。また、前立腺がんで亡くなる方も今後多くなると考えられています。年に一度はPSA検査を実施し、要精密検査となった場合は、必ず専門医療機関を受診しましょう。検診を受けただけでは意味がありません！



前立腺がんのリスク要因

50歳を超えると前立腺がんの罹患率は急激に増加します。50歳を過ぎたら、是非定期的にPSA検査を受けましょう。

年齢



父親や兄弟等の血縁者で前立腺がん罹患した人がいる場合は、40歳からの前立腺がん検診受診をお勧めしています。

家族歴



前立腺がんは欧米での発症数が多いことから、肉類・乳製品・卵等の動物性脂肪の取り過ぎが原因とも言われています。バランスの良い食事を心がけましょう。

食生活



前立腺がんの自覚症状

前立腺がんの初期には自覚症状はほとんどありません。がんが進行して尿道を圧迫し始めると、排尿障害等を引き起こします。また、骨への転移による腰痛等の痛みで初めて病院を受診し、前立腺がんを指摘されるケースもあります。

尿道が圧迫されることにより、頻尿・残尿感・尿が出にくくなる等の尿のトラブルが起こります。

排尿障害



尿道までがんが広がってしまうと、尿に血液が混じることがあります。排尿痛がでたり、尿閉(尿が全く出せなくなってしまうこと)が生じる場合もあります。

尿潜血



前立腺がんが骨盤や腰椎(腰の骨)に転移すると、背中や腰の痛み・足のしびれ等が出ることがあります。

痛み



前立腺がんの治療法

前立腺がんは比較的緩やかに進行するものから、進行速度が早く悪性度が高いものまでさまざまな種類があります。高齢者に多いがんなので、治療の負担と今後の生活の質を考慮し、治療法を選択していきます。

待機療法(PSA監視療法)

積極的な治療をせずに、経過観察し、様子を見る方法です。すぐ治療を行わなくても、余命に影響がないと判断された場合に選択されます。定期的にPSAの採血検査や前立腺の生検検査を実施します。



手術療法

前立腺と精のうを摘出し、膀胱と尿道をつなぎ合わせる手術です。患者さんの体力を十分考慮する必要があります。開腹手術や、内視鏡(腹腔鏡)手術等、手術にも様々な種類があります。



放射線療法

放射線を照射して、がん細胞を死滅させる方法です。進行がんや、骨の転移で痛みがある人まで、幅広く用いられる治療法です。放射線を照射した部分に、一種のやけど症状が出ることもあります。



薬物治療

薬物治療の代表的な治療法がホルモン(内分泌)療法です。男性ホルモンの働きを抑えることで、がん細胞の分化・増殖を抑えます。



《編集後記》 明けましておめでとうございます。お正月はいかがでしたでしょうか。

今回は前立腺がんをテーマにお伝えしました。前立腺がん検診を受診していない皆様、採血検査だけで済みますので、是非受診しましょう。今年も健康で元気にお過ごしください！！

スタッフ一同

公益財団法人 宇都宮市医療保健事業団 健診センター

〒321-0974 宇都宮市竹林町968 TEL(028)625-2213 FAX(028)625-2215

あなたとあなたの大切な人のために年に1度、健康診断を受けましょう！